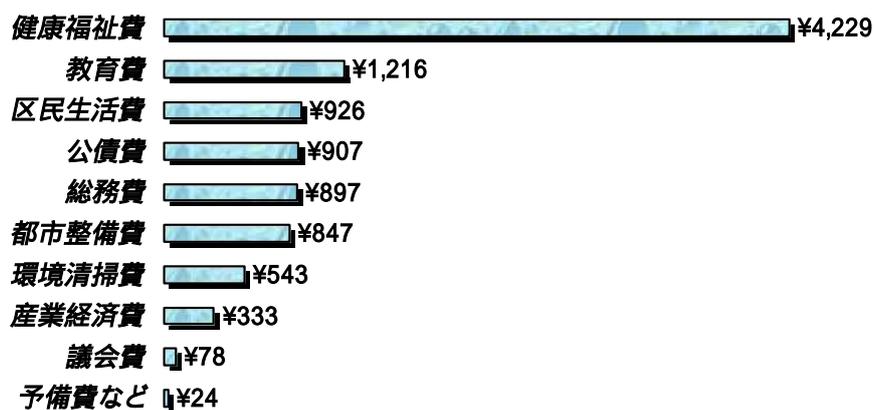


= 区民の皆さんに予算を理解していただくために =

平成22年度(2010年度)

区民のための 予算ハンドブック



目黒区

このハンドブックは、目黒区ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.meguro.tokyo.jp/gyosei/soshiki/kikakukeiei/zaisei/index.html>

数値については、原則として表示単位未満を四捨五入し、端数調整をしていないため、合計等と一致しない場合があります。

はじめに

目黒区では、区民の皆さんに区政に関する情報をわかりやすく、積極的に提供できるよう努めています。

この「区民のための予算ハンドブック」は、その一環として、平成22年度当初予算について、収入・支出が全体としてどのような姿となっているのか、また、どのような施策が盛り込まれているのかを、グラフや写真などをなるべく多く取り入れてわかりやすく説明したものです。

平成22年度予算は、「区民の暮らしを守り支え、明るい未来を築く予算」と位置づけ、改定実施計画への取り組みのほか、「4つの重要課題」への対応を積極的に進めることで、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指す内容としています。これらの施策内容のほか、昨年度に引き続き計上した緊急経済対策「暮らしサポート22」及び本年度新たに計上した経費の主なものをご紹介します。

また、「区の予算の使い道」をご理解いただくため、区民の皆さんに身近な事業を取り上げ、事業内容と予算をご紹介します。今回は、「中央町児童館の運営」、「不用園芸土の回収と再生」の2事業としました。

この冊子が、区の予算について一層のご理解をいただくための一助となれば幸いです。

平成22年5月

目 黒 区

目 次

1	予算編成方針	1
2	予算規模	1
3	一般会計予算の概要	2
	(1) 歳入予算(区の収入)	2
	(2) 歳出予算(区の支出)	4
4	暮らしサポート22 ～区民の暮らしを支える緊急経済対策～	6
5	実施計画事業一覧	9
6	重点化対象事業等	16
	重要課題(1) 地域の安全・安心の確保	16
	(2) 暮らしのセーフティネットの充実	18
	(3) 地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成	25
	(4) 地域特性を生かした目黒らしさのある取り組み	31
	その他の主な新規・臨時経費など	34
7	特別区債(区の長期借入金)	44
8	積立基金(区の貯金)	44
9	特別会計財政規模の推移	45
	(1) 国民健康保険特別会計	45
	(2) 老人保健医療特別会計・後期高齢者医療特別会計	45
	(3) 介護保険特別会計	46
	(4) 用地特別会計	46
参	考 資 料	47
	22年度に実施する特色ある事業	48
	中央町児童館の運営	48
	不用園芸土の回収と再生	50
	行財政改革の推進	52
	類似団体との財政状況比較	56

1 予算編成方針

一昨年9月に米国で発生した金融危機を発端として世界的規模で不況が拡大する中で、わが国の経済はかつてない「速さ」と「深さ」で落ち込み、国民生活や事業活動に大きな影響をもたらしています。本区では、一昨年末に緊急経済対策本部を設置し、「暮らしサポート21」としてこれまで4度にわたる緊急経済対策を実施してきました。引き続き22年度においても「暮らしサポート22」として緊急経済対策に取り組みます。

また、22年度は、特別区税、特別区交付金などの歳入に大きな落ち込みが見込まれ、財源不足への対応のため、基金取崩による財源対策を行うことが必要となっています。

こうした厳しい財政状況の中、22年度予算は、「区民の暮らしを守り支え、明るい未来を築く予算」と位置づけ、改定実施計画への着実な対応を図るとともに、行財政運営基本方針で定めた4つの重要課題である「地域の安全・安心の確保」、「暮らしのセーフティネットの充実」、「地球温暖化防止と快適な住環境の保全・形成」、「地域特性を生かした目黒らしさのある取り組み」への対応を積極的に進めることで、「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現を目指す内容としています。

編成手法としては、枠配分方式を継続することで、一般財源ベースによる予算の総額管理を行い、計画的な編成と、重要課題等に重点的・効率的に配分することによって、区民福祉の向上を図っていきます。

2 予算規模

一般会計は、885億円余で、前年度比2.9%、26億円余の減となりました。

特別会計では、国民健康保険特別会計は共同事業拠出金の減などにより8.4%の減、老人保健医療特別会計は対象医療費の減などにより33.9%の減、後期高齢者医療特別会計は広域連合納付金の増などにより7.0%の増、介護保険特別会計は保険給付の増などにより4.8%の増、用地特別会計はほぼ前年度並みとなっています。

一般会計と特別会計の合計額は1,318億円余で、前年度比2.8%減となりました。

予 算 規 模

単位：千円

会 計 区 分	平成22年度	平成21年度	増減額	増減率
一 般 会 計	88,577,058	91,229,835	2,652,777	2.9
特 別 会 計	43,260,833	44,429,385	1,168,552	2.6
国民健康保険特別会計	23,402,651	25,547,390	2,144,739	8.4
老人保健医療特別会計	35,422	53,568	18,146	33.9
後期高齢者医療特別会計	5,131,481	4,793,701	337,780	7.0
介護保険特別会計	14,475,284	13,815,730	659,554	4.8
用地特別会計	215,995	218,996	3,001	1.4
合 計	131,837,891	135,659,220	3,821,329	2.8

3 一般会計予算の概要

(1) 歳入予算(区の収入)

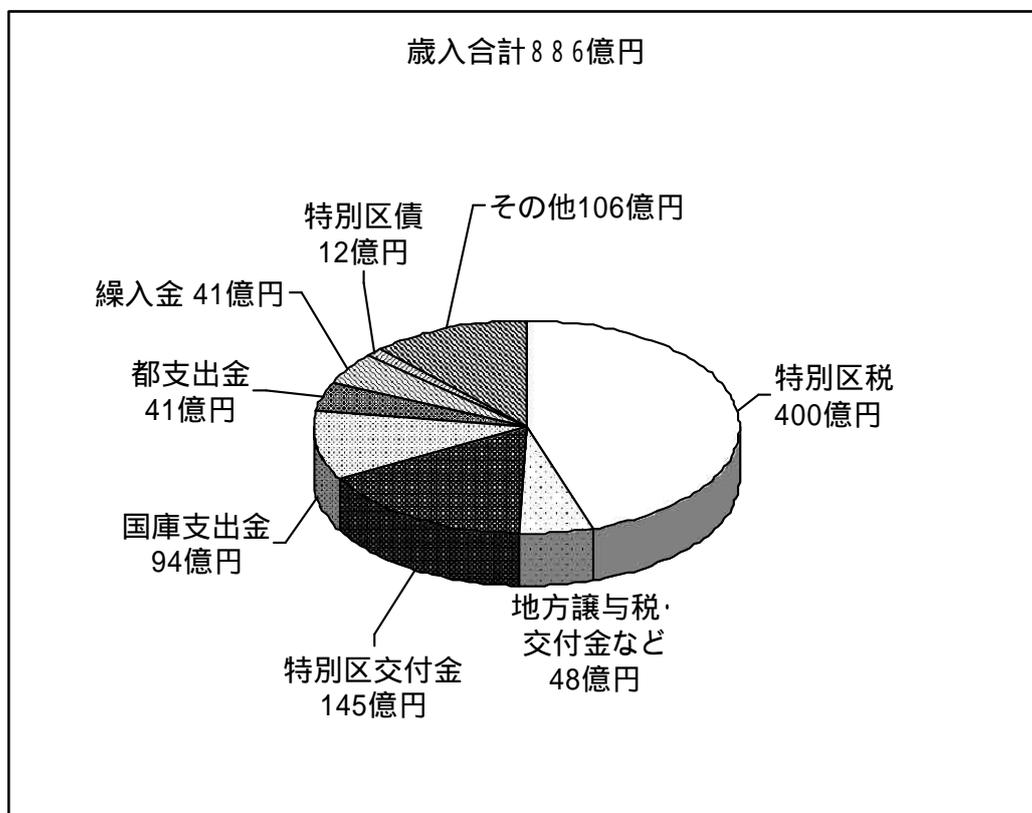
区税収入は399億円余で、前年度比3.1%、12億円余の減となっています。

都区財政調整に基づく特別区交付金は、財源である市町村民税法人分が大幅減となったことを反映して、本区への交付金については、7.9%、12億円余の減となっています。

また、その他の一般財源では、利子割交付金が4億円余、地方消費税交付金が3億円余、配当割交付金が2億円余などいずれも都税収入の見込みを反映して減となっています。株式等譲渡所得割交付金は、株価回復を見込み微増となっています。地方特例交付金は、特別交付金の制度終了により減となっています。

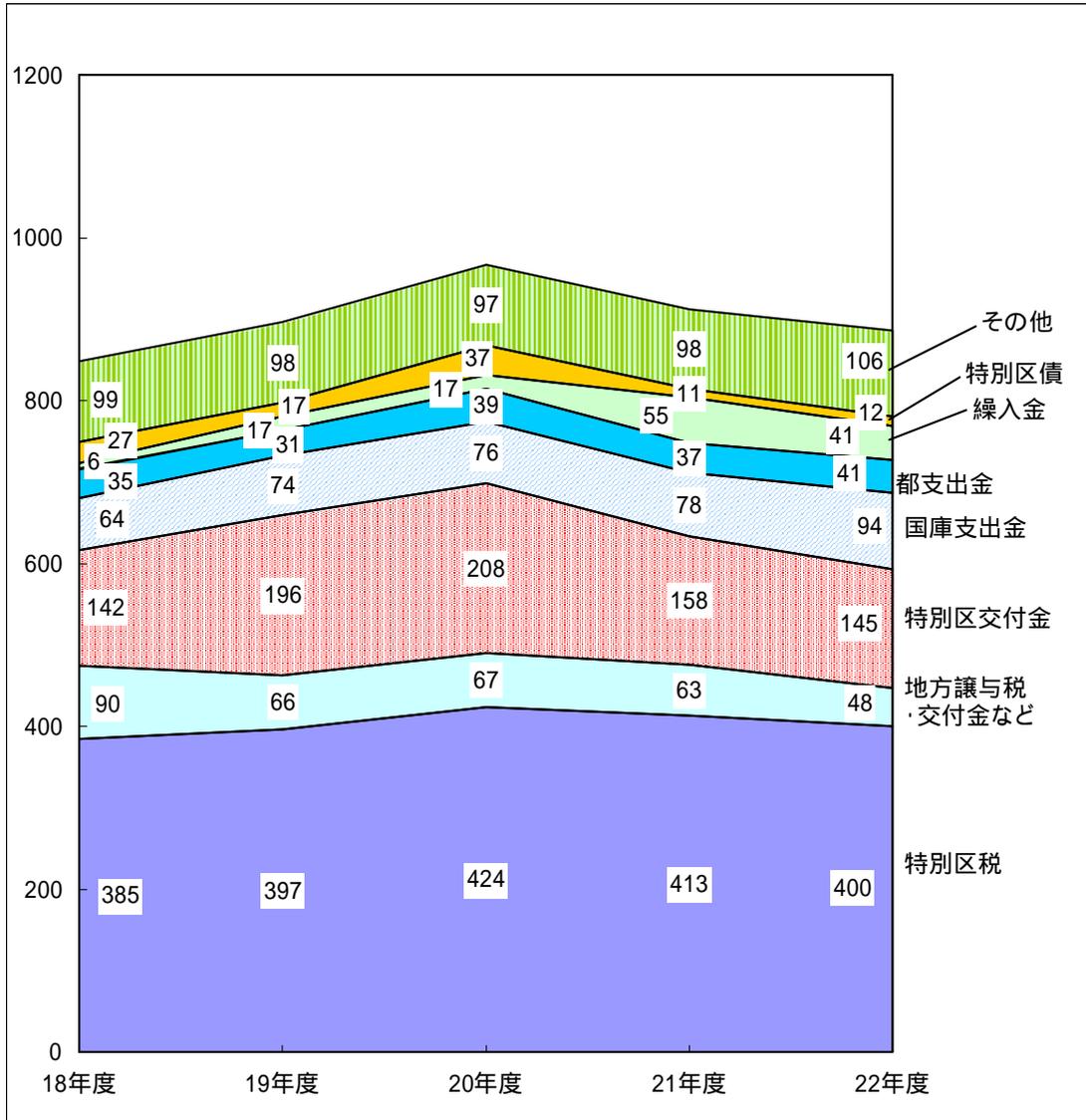
国庫支出金は、子ども手当支給などに伴い19.9%、15億円余の増、都支出金は、児童手当の対象拡大などにより11.9%、4億円余の増となっています。

特別区債は、11.8%、1億円余の増となっています。



歳入予算の推移

(単位：億円)



「地方譲与税・交付金など」は、地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金及び交通安全対策特別交付金の合計です。

【用語の説明】

特別区債 区が外部（政府資金、民間資金など）から資金を調達する長期の借入金のことで、施設建設などで多額に資金を要する時に発行します。長く利用される公共施設などについては、世代間の負担を公平にすることができます。(☞44 ページ)

(2) 歳出予算(区の支出)

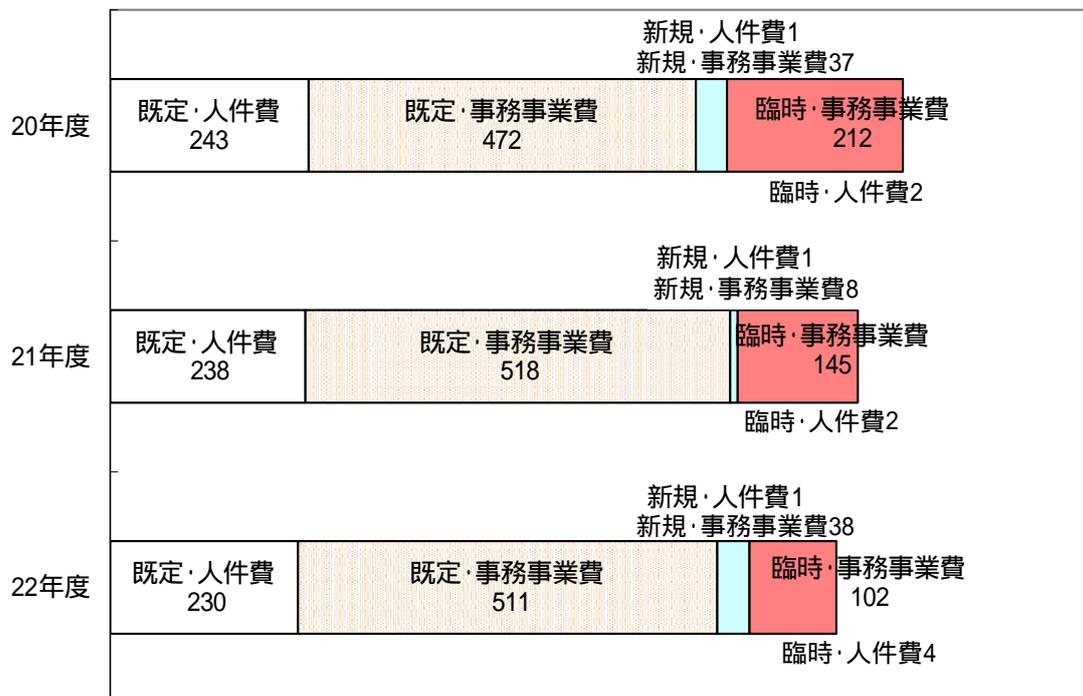
既定経費は740億円余で、給与改定、一般事務事業の見直しなどにより前年度比2.0%、14億円余の減となっています。既定経費のうち人件費は229億円余で、前年度比3.5%、8億円余の減となっています。

レベルアップ経費は、前年度の日本脳炎予防接種経費の既定化などにより53.2%減の4千万円余となり、新規経費は、子ども手当支給などにより328.4%、29億円余の大幅増で38億円余となっています。

臨時経費は106億円余で、前年度の上目黒一丁目市街地再開発、第六中学校跡地障害福祉施設(仮称)等建設など投資的経費の減などにより27.6%、40億円余の減となっています。

経費区分別の予算額

(単位:億円)



【用語の説明】

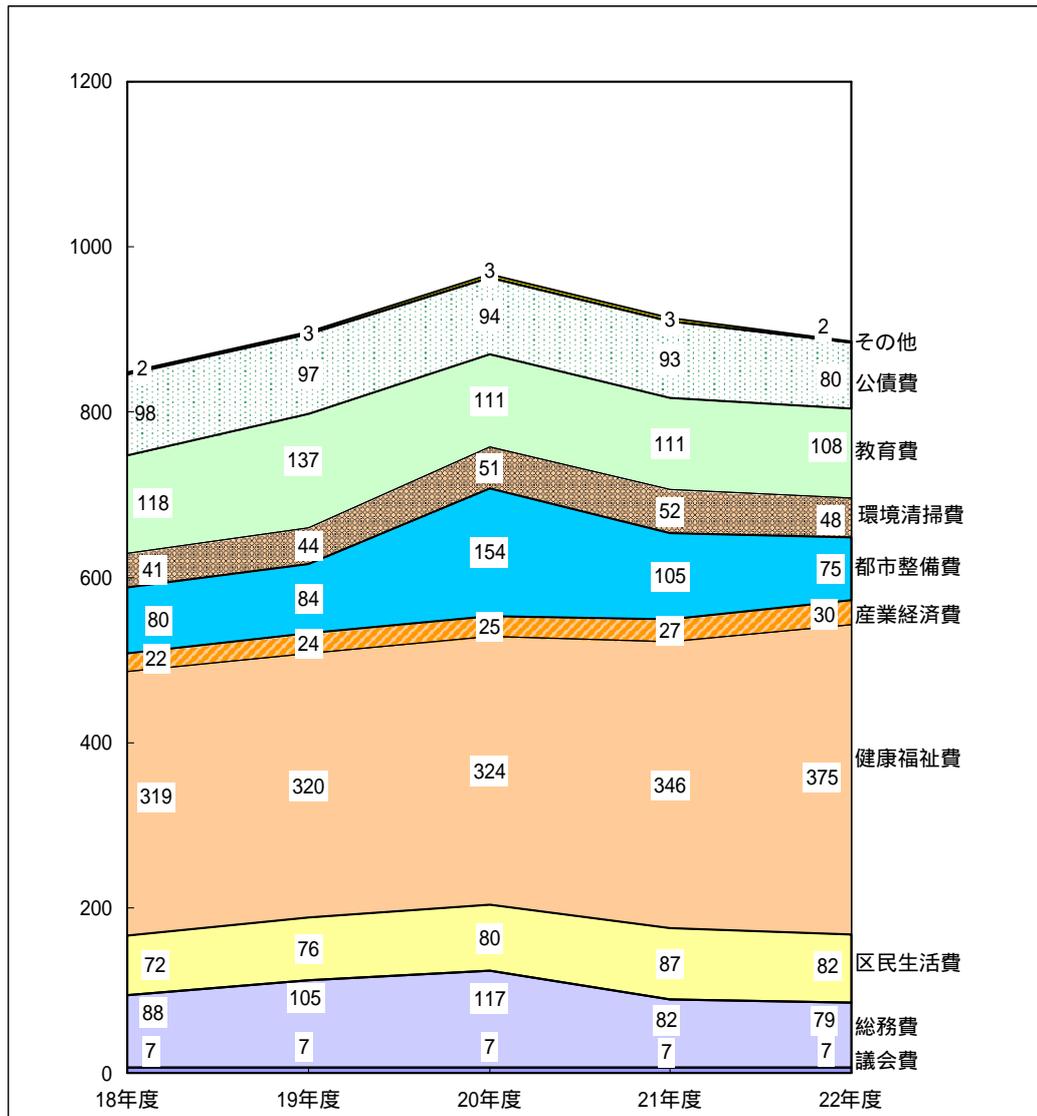
既定経費 現行の行政水準を維持していくのに必要な経費をいいます。

新規経費 新たな事務事業の開始に伴う経費で、翌年度以降経常化すると、既定経費となります。

臨時経費 建設事業など、一時的または臨時的に投入する経費をいいます。

歳出予算の推移

(単位：億円)



4 暮らしサポート22 ～区民の暮らしを支える緊急経済対策～

平成20年秋以降の大幅な景気悪化に伴う区民生活の不安を払拭すべく区においてはここまで48事業、総額18億円を超える緊急経済対策「暮らしサポート21」に取り組んできたところです。

内閣府による1月の月例経済報告では海外経済の改善や緊急経済対策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されるとの評価もされていますが、その一方で雇用情勢の悪化が顕著であり、失業率は過去最悪の水準で推移しています。また、企業の景況感は大幅な水面下にあり、昨年11月にはデフレ宣言がされるなど更なる景気悪化も懸念されます。

政権交代による国の政策の方向が大きく転換する動きの中で、依然先行き不透明な景気情勢が続いており、区民生活を支えるため「暮らしサポート21」に引き続き22年度についても「暮らしサポート22」として緊急経済対策に取り組みます。

区内中小企業等支援策	791,147千円	13事業	(うち新規3事業・充実2事業)
生活支援策	829,506千円	26事業	(うち新規5事業・充実6事業)
合計	1,620,653千円	39事業	(うち新規8事業・充実8事業)

区内中小企業等支援策

項目名	内容説明	予算額	備考
1 中小企業融資あっせん制度の拡大		656,764	
相談窓口の充実	20年10月31日から開始した緊急保証制度の認定事務要員として、非常勤職員3人、中小企業診断士1人を配置します。 制度融資利用希望者の増大や経営安定資金特別融資の通年受付に対応するため、商工経営相談員、商工融資相談員各1人を配置します。	21,527	
小口零細企業資金融資	利子補給(経営支援適用者)2.2%(本人0%) 3年間。4年目以降は、1.9%(本人0.3%) 信用保証料(経営支援適用者)=9割補助 21年度に実施した緊急借換の利子補給及び信用保証料(9割補助) 据置期間の延長(6ヵ月から1年)の継続 預託金の増額	570,556	既定経費の増額分を含む
経営安定資金特別融資	利子補給 2.2%(本人0%) 3年間。4年目以降は、1.9%(本人0.3%) 信用保証料=9割補助 21年度に実施した緊急借換の利子補給及び信用保証料(9割補助) 通年受付の継続	64,681	
2 (仮称)ビジネスサポート開設	専門家による助言、企業診断を希望する事業所に中小企業診断士、税理士等の専門家を派遣します。	750	新規

項目名	内容説明	予算額	備考
3 公共工事に係る前金払制度の要件緩和	前金払要件を緩和します。(契約金額:300万円以上130万円以上、工期:40日以上 制限なし、限度額:1億円 2億円)	-	新規
4 公共工事に係る中間前金払制度の創設	当初の前払金に加え、一定の要件を満たす場合工事の中間段階で請負金額の2割以内の金額(限度額1億円)を中間前払金として支払います。	-	新規
5 簡易な業者登録制度の整備	中小零細事業者向けに、現行の債権者登録制度の中に区独自の簡易な業者登録制度を整備します。	-	充実
6 公共工事の発注拡大	毎年度計画的に実施している施設及び道路修繕などの計画修繕工事を臨時的に拡大します。	100,000	
7 公衆浴場事業者燃料費助成	月額最高4万円までを補助します。	3,192	
8 公衆浴場健康増進型設備助成金	総額6,000万円の改修計画で1/6を補助します。	10,000	
9 商店街街路灯助成	電気料:1本@4,680円 @5,160/年	1,066	
10 民間社会福祉法人施設整備費補助	民間社会福祉法人の財政悪化や雇用確保の困難さなどにより、厳しい環境となっています。そこで、大規模施設改修経費の一部を補助し、法人の負担軽減を図ります。	18,375	
11 住宅リフォーム資金助成制度の充実	一般リフォーム工事の助成枠を拡大します。(現行予算枠700万円 800万円)	1,000	充実
合 計		791,147	

生活支援策

項目名	内容説明	予算額	備考
1 低所得者に対する支援策		57,123	
住宅手当緊急特別措置事業	離職者で他の雇用対策の対象とならない低所得者のうち、就職活動を行う者に対して住宅手当を給付します。	26,006	
路上生活者等に係る宿泊施設の確保	緊急対応用の宿泊施設として、現行年間3床確保しているところを4床に増やし、緊急時の円滑な対応を図ります。	1,917	充実
応急福祉資金貸付制度の充実	貸付限度額の引き上げを行います。(18万円 20万円)	8,700	充実
低所得者利用負担軽減	訪問介護・訪問入浴など予防給付10事業、介護給付11事業について、本人負担を5%軽減します。	13,336	
通所施設における食費実費額の一部補助	通所施設における食費の実費額について、一部補助を行います。補助額:低所得者など=200円、一般=400円	7,164	
2 雇用に対する支援策		146,446	
ワークサポートめぐりの充実	求人検索を主体とした「ハローワーク相談室」とキャリアアドバイザーによる専門相談窓口「キャリア相談コーナー」を継続し、ミニセミナーを充実します。	9,597	充実
住居表示システム導入による雇用の確保	住居表示台帳の電子データ化を「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」を活用して行います。	19,296	新規

項目名	内容説明	予算額	備考
建築確認台帳の電子化による雇用の確保	建築確認台帳を「緊急雇用創出事業臨時特例交付金」を活用して電子化し、建築物に関する照会及び証明書発行の迅速化と、台帳の保全を図ります。	2,814	新規
観光案内窓口の開設による雇用の確保	観光情報の収集・発信の基盤整備のひとつとして「ふるさと雇用再生特別交付金」を活用して観光案内窓口を開設します。	5,941	新規
介護施設職員の処遇改善	高齢者在宅サービスセンター・特別養護老人ホームにおける介護職員の処遇を改善します。	31,629	
特別養護老人ホーム正規職員化	指定管理者が契約職員として配置してきた職員構成の見直しを行い、正規職員としての人材確保を行うこと及び正規職員を増員することで事業の安定的運営、充実を図れるよう経費負担を行います。	61,942	
特別養護老人ホーム看護師の充実	区立特別養護老人ホーム契約看護師勤務時間を延長し、利用者の重度化に対応します。	1,600	
障害福祉施設職員の処遇改善	区立障害福祉施設(指定管理施設)に勤務する職員の処遇を改善します。	8,883	
障害者の臨時職員雇用	区役所内で知的又は精神障害者を臨時職員として雇用し、障害者が対応できる仕事を通じて一般就労に向けた事務の訓練を行います。	4,744	充実
3 消費者行政の充実	区民の消費者力向上と消費者被害の防止等を図るため、「地方消費者行政活性化交付金」を活用して広報・啓発活動の充実等を行います。	5,647	
4 消費生活相談体制の充実	消費生活相談を充実するため相談員勤務日数を増やします。	14,352	
5 通所施設利用促進助成	区内通所施設など(すくすくのびのび園・心身障害者センター・福祉工房・民間施設・区外施設)の利用者負担額を10% 5%に軽減します。	2,115	
6 子育て世代に対する支援策		603,823	
私立幼稚園保育料補助	私立幼稚園児保育料の保護者負担軽減を図るため、区独自の月額補助を拡充します。(月額@9,000円@9,700円)	23,016	充実
私立保育所整備費補助	私立保育園が行う、0歳児の定員拡大(6人 12人)等のための増築に対して、「安心こども基金」を活用して整備費の補助を行います。	18,216	新規
中央町保育園増築・改修	中央町保育園の改修にあわせて増築を行い、定員の拡大を図ります。(23年11月予定 37名程度増)	112,000	
中町二丁目保育園(仮称)整備費補助	認可保育所を整備する民間事業者に対し、「安心こども基金」を活用して保育園の整備経費等を補助します。	197,109	
賃貸型認可保育所運営費補助	22年4月に開設する認可保育所2か所(上目黒及び八雲、各定員80人)の事業者に対して賃借料を補助します。	36,831	
保育定員の弾力化	区立保育園1、2歳児定員の弾力化を行い、22年4月時点で1・2歳児各27人、3歳児5人受入を増やします。	101,072	
認証保育所運営費補助	22年4月に開設する認証保育所(定員45人)に対し、運営費等を補助します。	49,175	
認証保育所等保育料助成	認証保育所などの利用者の負担軽減を図るため、保育料助成を行います。(世帯所得438万8千円)	29,760	充実
学童保育クラブ整備費補助	23年4月に開設する民設民営学童保育クラブに対し、整備経費等を補助します。	36,644	新規
合 計		829,506	

5 実施計画事業一覧

区では、まちづくりを計画的に進めていくために長期計画を定めています。その一つである実施計画は、区の事業のうち計画的に推進する必要がある主要な事業についての5か年（22～26年度）の行財政計画です。財源の裏付けを持った年度別の事業量を定めることを基本に、事業の着実な推進を図ることを目的としています。「実施計画」の22年度予算計上は、以下のとおりです。

番号	事業名	22～26年度 総事業費	22年度 事業費
豊かな人間性をはぐくむ 文化の香り高いまち			
1	興津自然学園(仮称)整備 興津健康学園跡施設を改修し、新たな教育施設として興津自然学園(仮称)を整備します。 【企画調整課】 (22年度予算計上内容) ・興津自然学園(仮称)の22年7月開設(予定)に向けた、整備工事費、準備及び開設後の施設運営経費。	4億6,717万円	4億6,717万円
2	学校のICT環境整備 コンピューター教室、普通教室、特別教室の機器などの入替え、各学校へのプロジェクト及び実物投影機の整備、校内LANの張替え・拡充などを進めます。 【教育改革推進課】 (22年度予算計上内容) ・小中学校でのコンピューター借上げ。	6億4,212万円	6,304万円
3	自然宿泊体験教室事業の実施 自然宿泊体験教室事業を小学校4年生から中学校1年生までを対象に実施します。 【指導課】 (22年度予算計上内容) ・興津自然学園(仮称)、八ヶ岳林間学園及び角田市・気仙沼市における自然宿泊体験教室事業の実施。 (22年度は移行期間のため、一部、旧移動教室、林間学園事業の内容での実施校があります。)	1億1,572万円	7,817万円
4	区立幼稚園の認定こども園への移行 区立幼稚園(げっこうはら、みどりがおか)2園を認定こども園へ移行します。 【教育改革推進課】 (22年度予算計上内容) ・認定こども園への移行に向けたげっこうはら幼稚園園舎の耐震診断。	3億9,911万円	179万円
5	特別支援学級の増設 小学校の通級型の情緒障害学級を各地区に1校となるよう増設します(22年度・中根小、25年度・東山小)。また、中学校の通級型の情緒障害学級も増設します(24年度・第七中)。 【学務課】 (22年度予算計上内容) ・22年度開設の情緒障害学級の運営経費(中根小学校)。	4,658万円	427万円
6	校庭整備 小学校・中学校の校庭整備を順次進めます。 【学校施設計画課】 (22年度予算計上内容) ・小学校1校の校庭改修工事。	6億6,150万円	7,350万円
7	小学校校舎の改築・大規模改修 老朽化の進んだ小学校校舎について、改築又は大規模改修を進めます。 【学校施設計画課】 (22年度予算計上内容) ・東山小学校の改築に向けた実施設計。	51億3,050万円	6,888万円

番号	事業名	22～26年度 総事業費	22年度 事業費
ともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち			
1	鉄道駅舎エレベーター等整備の支援	7,000万円	7,000万円
<p>区内鉄道駅舎へのエレベーター等設置費用の一部を助成することにより、すべての区民が円滑に社会参加できる公共交通機関の利用環境を整備します。</p> <p style="text-align: right;">【障害福祉課】</p> <p>(22年度予算計上内容) ・緑が丘駅のエレベーター整備費補助。</p>			
2	交通バリアフリー整備計画の推進	1,222万円	422万円
<p>だれもが安全で快適に移動できる社会を実現するために、交通バリアフリー整備計画を推進します。</p> <p style="text-align: right;">【都市計画課】</p> <p>(22年度予算計上内容) ・交通バリアフリー推進基本構想の改訂準備。 ・交通バリアフリー推進地区地区別計画の改訂準備。</p>			
3	緑が丘駅周辺のバリアフリー整備	5億1,897万円	4,927万円
<p>鉄道事業者による駅のバリアフリー改修計画にあわせて、緑が丘駅周辺の駐輪場や自由通路などのバリアフリー整備を推進します。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p> <p>(22年度予算計上内容) ・鉄道施設の仮設・撤去などの工事。</p>			
4	学童保育クラブの整備（新設等）	2億4,554万円	3,664万円
<p>学童保育需要の高い地域に学童保育クラブを開設し、子どもの居場所の確保と放課後の健全育成を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【子育て支援課】</p> <p>(22年度予算計上内容) ・民間が整備する学童保育クラブ1か所への施設整備費補助及び開設準備経費など。</p>			
5	保育所の整備（新設）	4億9,350万円	3億5,350万円
<p>区有地などを活用して保育所を整備・確保し、急増する待機児の解消を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【保育計画課】</p> <p>(22年度予算計上内容) ・22年4月開設の中目黒駅前保育園の運営経費。 ・民間が整備する中町二丁目保育園（仮称）への建設・設計費補助など。</p>			
6	保育所の整備（改築・改修）	7億5,165万円	1億5,296万円
<p>老朽化した園舎を改築・改修し、良好な保育環境の確保を図るとともに、定員増により保育需要に対応します。</p> <p style="text-align: right;">【保育計画課】</p> <p>(22年度予算計上内容) ・中央町保育園増築・改修（工事・仮設園舎リースなど） ・南保育園耐震補強及び改修（基本設計・実施設計、仮設園舎用地賃借料）。 （第二ひもんや保育園の事業費(工事費)は、「高齢者福祉住宅の確保」（目黒本町二丁目複合施設）に別掲）</p>			
7	地域密着型サービス基盤の整備支援	11億5,566万円	5億8,783万円
<p>高齢者が地域で安心した生活を続けられるよう、国制度の上乗せによる介護基盤整備補助を実施し、地域密着型サービス事業者の参入を促進します。</p> <p style="text-align: right;">【介護基盤整備課】</p> <p>(22年度予算計上内容) ・認知症高齢者グループホーム 4ユニット（定員9人×4）の整備費補助。 ・小規模多機能型居宅介護拠点 2か所（定員20人×2）の整備費補助。 ・認知症対応型通所介護拠点 2か所（定員10人×2）の整備費補助。</p>			

番号	事業名	22～26年度 総事業費	22年度 事業費
ともに支え合い 健やかに安心して暮らせるまち（続）			
8	区立第4特別養護老人ホームの整備	19億5,624万円	4,168万円
<p>要介護高齢者の増加や重度化に対応するため、旧都立大学跡地第3期工事予定地に新たな区立特別養護老人ホームを整備します。</p> <p style="text-align: right;">【介護基盤整備課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4特別養護老人ホームの基本構想・基本設計及び実施設計。 			
9	障害者グループホーム・ケアホームの整備	596万円	47万円
<p>障害者グループホーム、ケアホームの運営事業者に対して運営費の一部を助成することにより、障害者の安定した地域生活の場を確保します。</p> <p style="text-align: right;">【障害福祉課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者グループホーム運営費補助（民間1ヵ所）。 			
10	福祉工房の整備	5億6,477万円	5億6,277万円
<p>福祉工房の機能の充実と定員の拡大を図るため、改築・移転を行います。</p> <p style="text-align: right;">【障害福祉課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目黒本町障害福祉施設（仮称）整備工事、初度備品及び開設準備経費など。 			
環境に配慮した 安全で快適なまち			
1	自然環境の保全と回復	3,151万円	127万円
<p>みどり豊かな環境を守り、育て、次世代へ引き継いでいくため、みどりの実態調査を実施するほか、ビオトープ活動支援、ビオトープエコアップ支援を行い、自然環境を保全・回復します。</p> <p style="text-align: right;">【みどりと公園課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民による身近な生物調査。 ・学校ビオトープ活動支援（碑小学校）。 ・ビオトープエコアップ支援（2校）。 			
2	民有地のみどりの保全と創出	4,446万円	879万円
<p>保存樹木などの保全や屋上緑化・壁面緑化などの推進により、民有地のみどりを保全・創出します。</p> <p style="text-align: right;">【みどりと公園課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保存樹木などへの助成。 ・みどりの協定（4件）。 ・屋上・壁面緑化への助成。 			
3	上目黒一丁目旧国鉄清算事業団宿舍跡地の有効活用	837万円	837万円
<p>上目黒一丁目旧国鉄清算事業団宿舍跡地に定期借地権を設定し、民間活力を活用して周辺環境と調和のとれたまちづくりを推進します。</p> <p style="text-align: right;">【地区整備計画課（中目黒地区）】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区計画の策定。 ・募集要項を定め事業者の募集を実施。 			
4	上目黒一丁目地区市街地再開発事業	2億3,700万円	2億3,700万円
<p>上目黒一丁目地区において、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図りながら、都市基盤施設を整備し、居住機能及び商業・業務が調和した安全で快適な複合市街地の形成を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【地区整備計画課（中目黒地区）】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上目黒一丁目地区市街地再開発組合への補助（共同施設整備、土地整備、調査設計計画）。 			

番号	事業名	22～26年度 総事業費	22年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち(続)			
5	大橋一丁目周辺地区の整備	2億2,221万円	5,689万円
大橋一丁目周辺地区を広域生活拠点として整備し、あわせて地域の街づくり活動支援を行います。		【地区整備事業課(大橋地区)】	
(22年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・街づくり活動支援。 ・電線類地中化調査。 ・国道横断デッキ工事負担金。 			
6	自由が丘駅周辺地区の整備	2億6,896万円	2億1,702万円
自由が丘地区において、駅前広場等の歩行環境の改善を進めるとともに、住宅と商店のバランスのとれた自由が丘らしいというおいのある街並みの形成を進め、安全で快適な回遊性のある街づくりを推進します。		【地区整備事業課(自由が丘地区)】	
(22年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・街づくり活動支援、駅前広場整備、都市再生整備計画の事後評価・第2期計画策定。 ・マリクレールストリート整備、サンセットエリアの表層整備補助・私道整備助成。 			
7	中目黒駅周辺地区整備	1,029万円	303万円
都市計画マスタープランで広域生活拠点として位置づけられている中目黒駅周辺地区において、地区整備構想などを策定するとともに、地区街づくり活動を支援します。		【地区整備計画課(中目黒地区)】	
(22年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・中目黒駅周辺地区整備構想改定。 ・街づくり活動支援。 			
8	学芸大学駅周辺地区整備	1億8,700万円	540万円
目黒区都市計画マスタープランに基づき、学芸大学駅周辺を地区生活拠点として整備するため、駅周辺地区整備計画に基づく整備事業を推進し、地域特性に応じたきめ細やかな街づくりを推進します。		【都市整備課】	
(22年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・あんしん歩行エリア形成事業施設整備設計、商店街景観などの街づくり支援。 ・駅・交流広場などの一体的整備検討。 ・駅周辺の自転車対策検討。 			
9	木造住宅密集地域整備事業	4億9,206万円	2,936万円
老朽木造建築物などが密集し公園などの公共施設が不足している地域において、良質な住宅への建替えを促進するとともに、公共施設の基盤整備を進め、居住環境及び防災性の向上を図ります。		【都市整備課】	
(22年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・目黒本町地区及び目黒本町六丁目・原町地区における整備計画推進事業費、建替え助成(2棟)、共同建替えなどへのコンサル派遣。 ・原町一丁目ひろば(仮称)整備・防火貯水槽設置工事。 			
10	西小山駅周辺の街づくりの推進	6,690万円	616万円
老朽木造住宅が密集する西小山駅周辺において、地元意向を踏まえ関係機関とも連携しながら、道路・公園などの公共施設の基盤整備や共同建替えなどを推進し、地域の防災性の向上と住環境の整備を図るとともに、まちの拠点となる街づくりを進めます。		【都市整備課】	
(22年度予算計上内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・街づくり基礎調査。 ・街づくり活動支援。 			

番号	事業名	22～26年度 総事業費	22年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち（続）			
11	公園等の整備	31億3,865万円	1億4,829万円
<p>立体都市公園制度を活用した公園・緑地の整備、木密事業や跡地の活用などによる公園の整備を行います。</p> <p style="text-align: right;">【みどりと公園課】</p> <p>(22年度予算計上内容) <ul style="list-style-type: none"> ・東山公園拡張整備・防火貯水槽設置工事。 ・大橋一丁目公園(仮称)への利用経路に伴う負担金。 ・利用促進検討。 (原町一丁目ひろば(仮称)整備工事の事業費は「木造住宅密集地域整備事業」に別掲)</p>			
12	公園等の改良	6億9,665万円	2,726万円
<p>老朽化した公園・公衆便所について、バリアフリー化 防災・防犯性の向上 施設の安全確保 利用促進 公衆便所の環境改善 住民参加による公園管理などの観点に考慮し、順次計画的に必要な改良を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【みどりと公園課】</p> <p>(22年度予算計上内容) <ul style="list-style-type: none"> ・碑文谷公園改良。 ・正覚寺公衆便所改良。 </p>			
13	駒場公園の文化財保存・修復整備	3億5,927万円	496万円
<p>平成20年3月に東京都指定有形文化財に指定された駒場公園について、和館・庭園などの整備を行います。</p> <p style="text-align: right;">【みどりと公園課】</p> <p>(22年度予算計上内容) <ul style="list-style-type: none"> ・駒場公園和館等保存・修復基本構想。 </p>			
14	都市計画道路の整備	7億4,183万円	6億7,018万円
<p>円滑な道路交通や歩行者の安全・快適な通行の確保とともに、災害時の避難路及び延焼遮断帯として防災性の向上に寄与するよう都市計画道路を整備します。</p> <p style="text-align: right;">【土木工事課】</p> <p>(22年度予算計上内容) <ul style="list-style-type: none"> ・補助30号線整備(用地取得・街路築造・電線類地中化に伴う連系・引込管整備)。 </p>			
15	電線類の地中化	3億5,740万円	1億7,105万円
<p>防災機能の強化、安全な歩行空間の充実や良好な都市景観を形成するため、電線類の地中化を推進します。</p> <p style="text-align: right;">【土木工事課】</p> <p>(22年度予算計上内容) <ul style="list-style-type: none"> ・都立大学駅前の電線類地中化に伴う本体・連系・引込管整備、街路築造工事・移設補償。 ・洗足駅前調査。 (大橋一丁目周辺地区、学芸大学駅周辺地区については各事業の中で進めます。)</p>			
16	環境配慮型の道路整備	3億1,839万円	514万円
<p>ヒートアイランド対策の一環として、ヒートアイランド対策推進エリア内の下目黒・目黒本町地域及び「風の道」づくりにおける目黒川ゾーンにおいて、保水性舗装など環境配慮型の道路整備を行います。</p> <p style="text-align: right;">【土木工事課】</p> <p>(22年度予算計上内容) <ul style="list-style-type: none"> ・保水性舗装・遮熱性舗装660㎡分。 </p>			
17	歩道のバリアフリー化推進	5,868万円	828万円
<p>だれもが日常の活動を円滑に行うことができる歩行者空間を実現するために、歩道の段差解消、舗装改良を行います。</p> <p style="text-align: right;">【土木工事課】</p> <p>(22年度予算計上内容) <ul style="list-style-type: none"> ・池尻大橋駅周辺地区 歩道改良(段差解消)20か所 (自由が丘周辺地区の歩道改良については「自由が丘駅周辺地区の整備」の中で進めます。)</p>			

番号	事業名	22～26年度 総事業費	22年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち(続)			
18	道路・橋りょうの長寿命化	1億7,277万円	1,637万円
道路・橋りょうの長寿命化を図るため、道路を中級舗装に改良するとともに、橋りょうの長寿命化計画を策定します。		【土木工事課】	
(22年度予算計上内容) ・橋りょうの長寿命化計画策定。			
19	通学路・裏通りの交通安全対策	3,175万円	277万円
通学路や裏通りの交通安全対策を行い、区民の安全で快適な道路環境を整備します。		【土木工事課】	
(22年度予算計上内容) ・1小学校区域。			
20	高齢者福祉住宅の確保	12億4,847万円	3億3,263万円
住宅に困窮する高齢者に対して住宅を提供することにより、その生活の安定と福祉の増進を図ります。		【住宅課・高齢福祉課】	
(22年度予算計上内容) ・コーポ八雲建設費・工事監理費補助及び維持管理経費。 ・借上型高齢者福祉住宅設計費補助 ・目黒本町二丁目複合施設整備費。			
21	防災行政無線デジタル化・災害情報システム機能更新	6億5,090万円	4億2,451万円
地域系・移動系無線をデジタル無線に再整備します。機器類が老朽化している災害情報システムを新たなシステムに更新します。		【防災課】	
(22年度予算計上内容) ・防災行政無線設備のデジタル化。			
22	下水道管直結型トイレの整備	2,858万円	1,289万円
第一次避難場所で使用するトイレとして、下水道管直結型トイレを整備します。新設予定の公園などにも計画的に整備します。		【防災課】	
(22年度予算計上内容) ・中学校2校。 ・東山公園、原町一丁目ひろば。			
23	備蓄倉庫の整備	1億38万円	1億38万円
東山公園、旧守屋教育会館跡地及び下目黒三丁目防災まちづくり用地に備蓄倉庫を整備します。		【防災課】	
(22年度予算計上内容) ・東山公園拡張用地備蓄倉庫整備。 ・守屋教育会館跡地備蓄倉庫整備。 (下目黒三丁目防災まちづくり用地の備蓄倉庫の整備については都市整備課事業の中で進めます。)			
24	総合治水対策の推進	2,478万円	200万円
局地的集中豪雨による浸水被害を最小限にするため、ハード面・ソフト面での対策を強化し、総合的な治水対策を推進します。		【都市計画課】	
(22年度予算計上内容) ・総合治水対策基本計画改定。 (学校校庭などの整備の事業費は「校庭整備」に別掲。) (公園整備の事業費は「公園等の整備」に別掲。)			

番号	事業名	22～26年度 総事業費	22年度 事業費
環境に配慮した 安全で快適なまち(続)			
25	都市防災不燃化促進事業	2億2,730万円	3,536万円
<p>補助46号線目黒本町三丁目地区・目黒本町五丁目地区において、大震災に伴い発生する市街地火災から住民の生命・財産の安全を確保するとともに、居住環境の整備に寄与するため、建替え助成による不燃化促進事業を推進します。</p> <p style="text-align: right;">【都市整備課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助46号線目黒本町三丁目地区建替助成(個別2棟)。 ・補助46号線目黒本町五丁目地区建替助成(個別5棟)。 			
26	金属材料技術研究所跡地周辺道路等の整備	1億160万円	672万円
<p>金属材料技術研究所跡地利用計画の一環として、区立中目黒公園を含む周辺一帯への避難路の充実及びアクセス利便性の向上を図るため、中目黒公園周辺道路、橋りょう及び防衛省南側に新設道路を整備します。</p> <p style="text-align: right;">【土木工事課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・跡地南側道路の用地取得に向けた現況測量・路線測量・用地測量。 			
27	民間建築物の耐震化促進	4億4,243万円	6,923万円
<p>「目黒区耐震改修促進計画」に基づき、耐震診断助成・耐震改修助成などの耐震化支援策を実施します。</p> <p style="text-align: right;">【建築課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断助成：木造120棟、非木造3棟。 ・耐震改修助成：木造30棟、非木造2棟。 ・耐震シェルター助成：1棟。 ・木造除却助成：1棟。 ・普及・啓発。 			
28	住宅用新エネルギー及び省エネルギー機器設置助成	7,200万円	1,440万円
<p>二酸化炭素の排出量削減に配慮した太陽光発電システムなど、住宅用新エネルギー・省エネルギー機器を設置し、又は設置しようとする区民に対し、その費用の一部を助成します。</p> <p style="text-align: right;">【環境保全課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム等設置費助成。 			
計画推進姿勢			
1	庁内情報処理体制の基盤強化	1億152万円	725万円
<p>イントラネットシステムのセキュリティ向上と運用の合理化を図るため、管理用ソフトの導入や、端末管理・データ保護の仕組みの見直しを行います。また、個別に分散して設置しているシステムの集中管理を目指し、運用体制の整備やセキュリティの向上を図ります。</p> <p style="text-align: right;">【情報課】</p> <p>(22年度予算計上内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティの強化経費(スマートオンIDの導入)。 			
実施計画事業 22年度予算計上額 合計			52億4,912万円